

キッズパーク、圧雪車体験、託児所整備…

# 子育て世代に照準

## 誘客へ企画続々

### 場スキー内県

子どもや家族向けの施設、サービスを充実させるスキー場が県内で増えている。託児所やキッズパークの整備、小学生以下のリフト料金無料化のほか、保育士が監修した雪遊びプログラムを導入するスキー場も登場。かつてスキーを楽しんだ子育て世代を再びゲレンデに呼び込むことで、スキー人口の拡大につなげる。

万座温泉スキー場 フリープログラム 3日曜、要予約）やレ（婦恋村）は今季、小 を実施。さらに人数限 ンタル（同第2、4日 学生以下のリフト料金 定ながらスキーレッス 曜、同）も無料とす を無料にする「キッズン（1〜3月の第1、る。

また、キッズパトロール体験や圧雪車体験乗車といった企画を用意。渡辺義明マネジャーは「子どもたちに楽しんでもらえるよう、コース内に雪像を設置したい」と話す。プログラムに併せて、万座プリンスホテ

ルと万座高原ホテルは、小学生以下を無料とする宿泊プランを1日10室限定で販売する。

ホワイトワールド尾瀬岩鞍（片品村）は今季、3〜6歳児を対象とした雪遊びプログラム「キッズ・ラブ・スノー」を導入する。保育士が監修し、安全面や子どもの興味を引き出す工夫がなされているのが特徴。料金は2時間4500円で、土日・祝日と年末年始に1日2回開く。子どもを預けている間、保護者はスキーやスノーボードを楽しむことがで

きる。キッズパークやさまざまな雪遊び体験を提供するなど、家族向けの取り組みに力を入れる水上高原スキーリゾート（みなかみ町）は、スノーアトラクションを新設。スノーチュービングでハーフパイプを滑るアトラクションや、大人用と子ども用のスノーモービルで一緒に走れるコースを整備する。中島賞支配人は「小さいころから雪に親しむことで、将来スキーを楽しむようになっしてほしい」と期待を寄せる。